



* 0035548000 *

0035548-000

14. 5-709

政府管掌健康保険事業要覧

石川県警察部健康保険課

昭和11年度

昭和12

AGD

秘

昭和十二年刊行

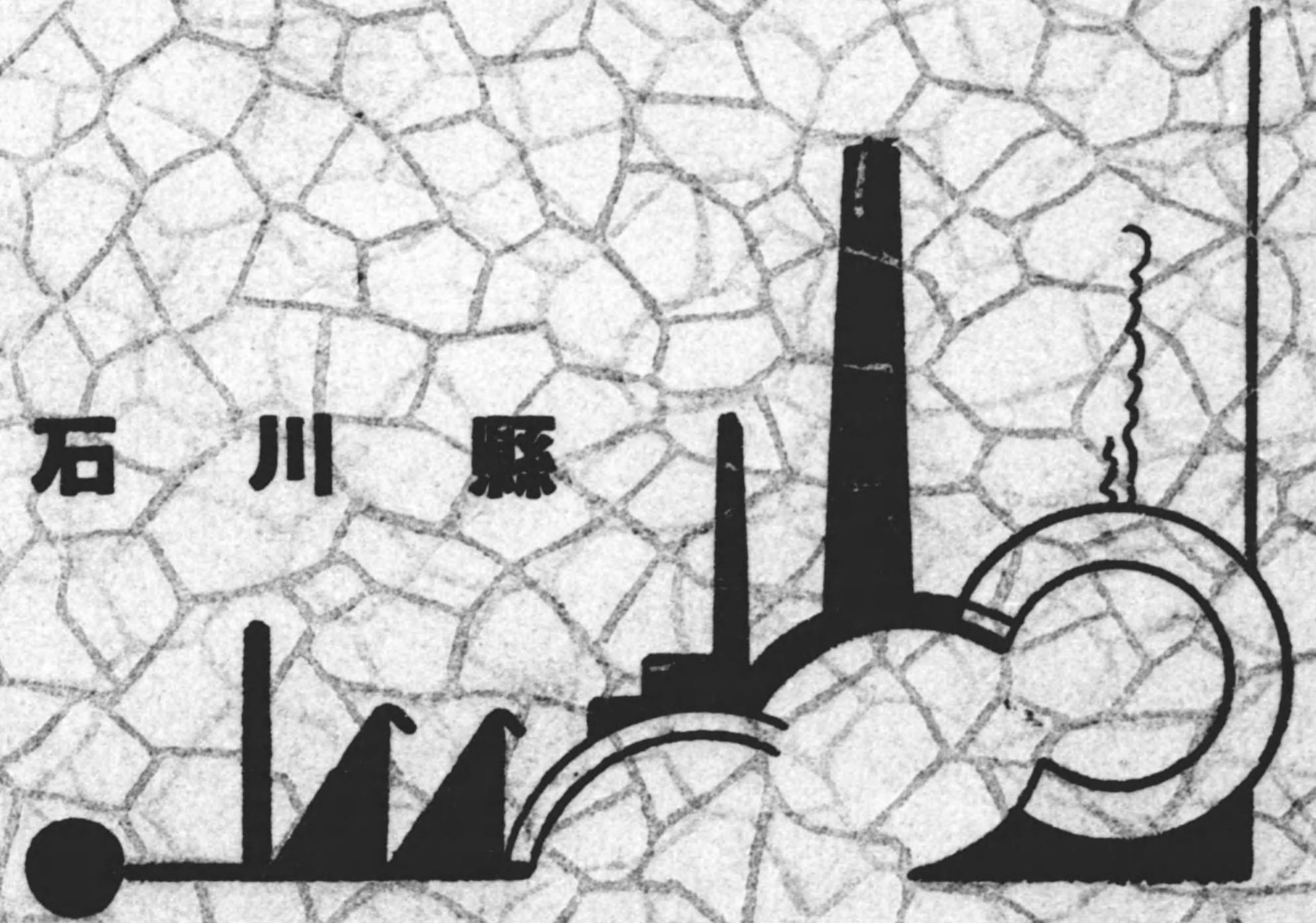
政府管掌

健康保險事業要覽

禁閱



石川縣



本書は主として昭和十一年度の事業の
概要を収録したるも尙其の消長を知るに
便なるため既往の事実をも併録せり

昭和十二年十二月

石川県警察部健康保険課

禁聞 9 14.5 709



石川縣の沿革..... 1

石川縣の地勢..... 1

健康保險の沿革..... 2

昭和十一年度健康保險事業概況..... 3

第一 職員..... 8

第二 石川第一次健康保險審査會（昭和十一年度末現在）..... 8

第三 工場、事業場、事業數及被保險者數..... 9

 (一) 業態別工場、事業場、事業數及被保險者數..... 9

 (二) 被保險者異動狀況..... 11

 (三) 標準報酬等級別被保險者數(保險料率百分ノ四)..... 12

第四 保 險 料..... 13

 (一) 保險料納入狀況(昭和十一年度)..... 13

 (二) 督促及滯納處分狀況..... 13

第五 保 險 給 付..... 14

 (一) 傷病に關する給付..... 14

 (二) 死亡に關する給付..... 14

 (三) 分娩に關する給付..... 15

 (四) 保險給付の件數、日數及費用額（昭和十一年度）..... 15

 (五) 傷病に關する給付月別（昭和十一年度）..... 16

 (六) 死亡に關する給付月別（昭和十一年度）..... 17

 (七) 分娩に關する給付月別（昭和十一年度）..... 18

 (八) 療養の給付及傷病手當金の期間別件數(昭和十一年度)..... 19



(九) 療養の給付及傷病手当金の傷病類別 (昭和十一年度).....20

(十) 療養の給付の傷病轉歸別件數.....24

(十一) 死亡の原因調 (昭和十一年度).....25

第六 保險醫診療報酬分配狀況.....28

第七 保險齒科醫診療報酬分配狀況.....29

第八 給付機關.....29

第九 保健施設.....30

 (一) 一般施設.....30

 (二) 健康保險相談所.....30

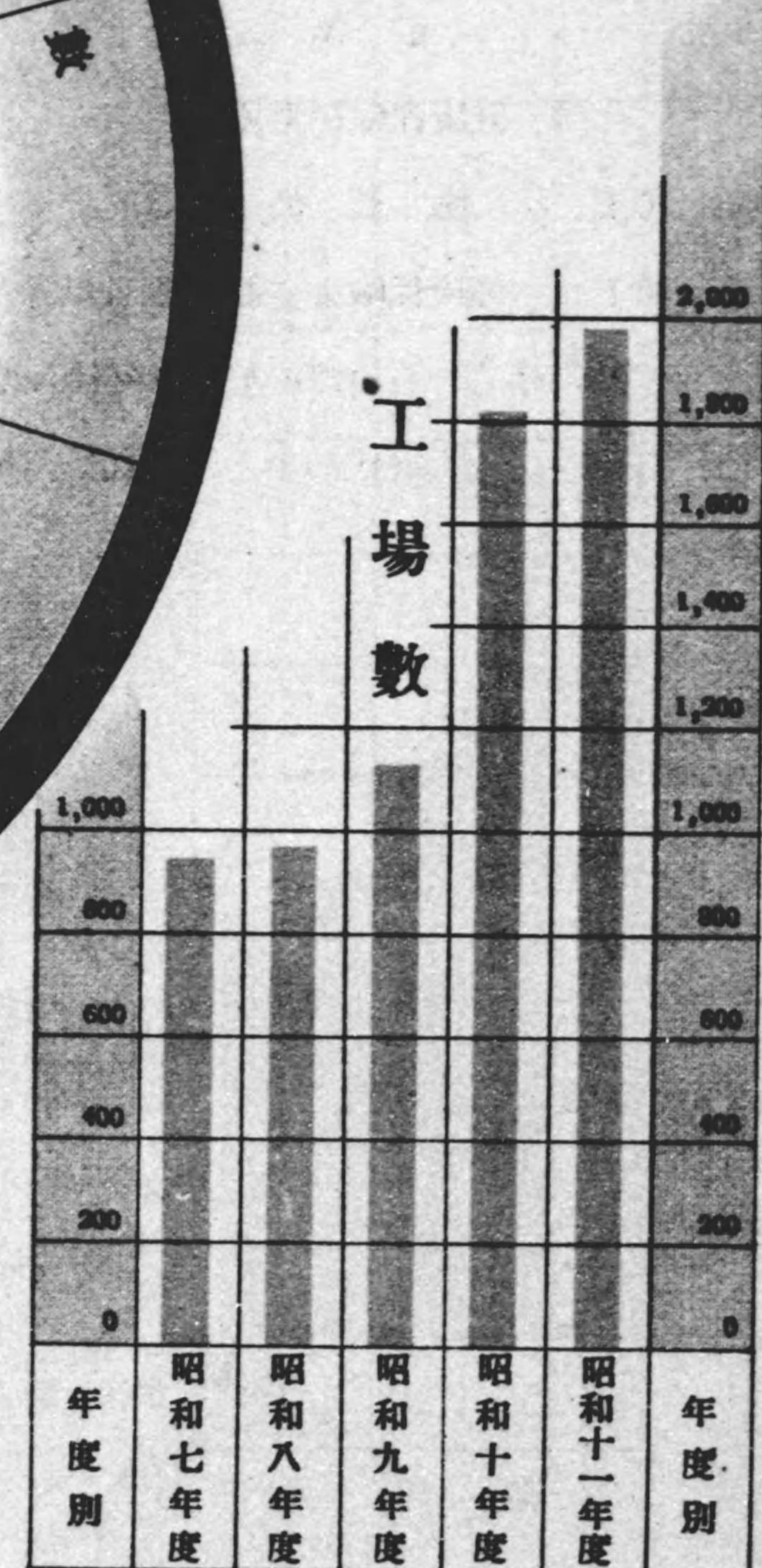
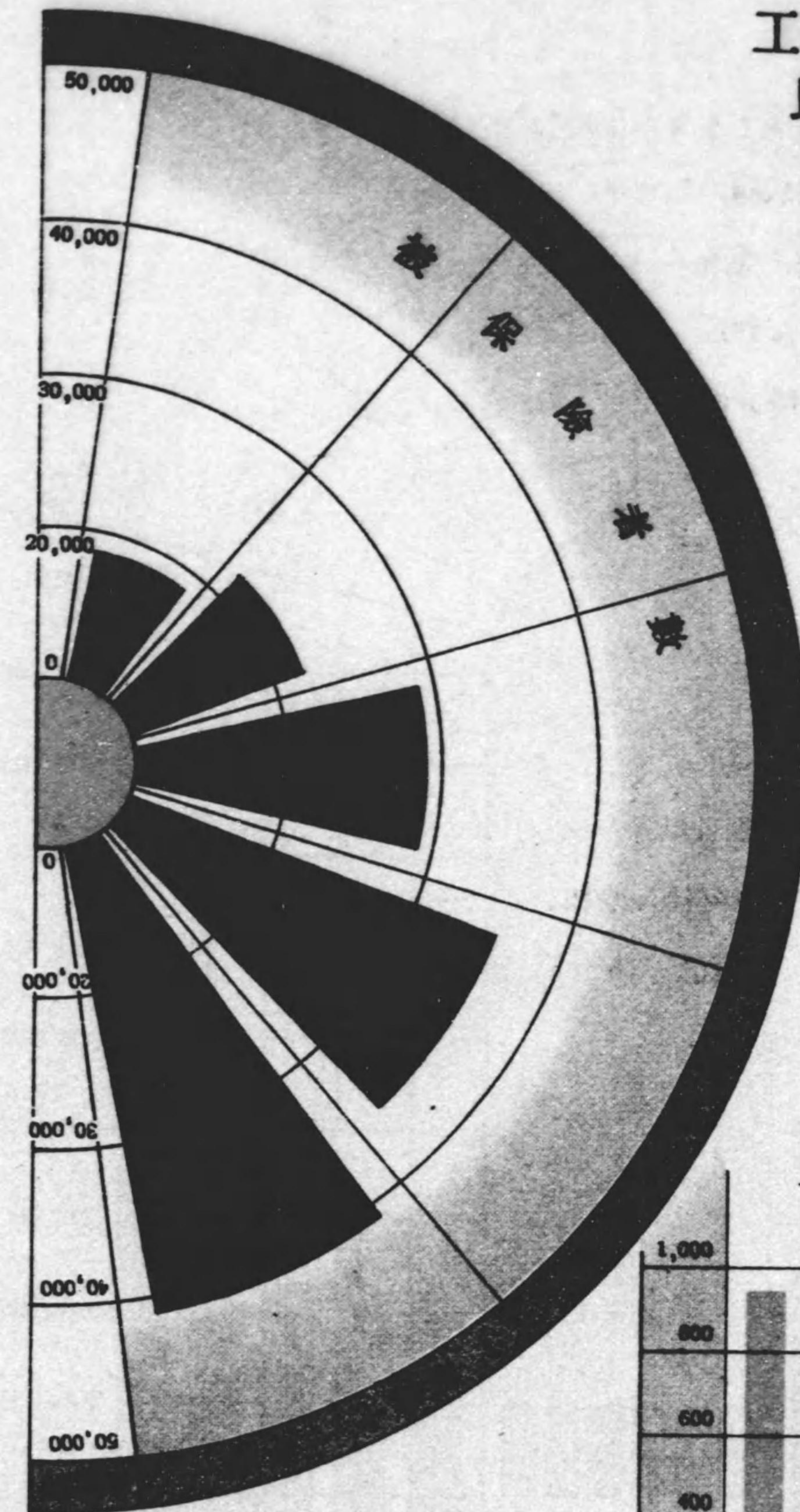
第十 保險經濟 (昭和十一年度).....32

第十一 健康保險より觀たる石川縣の地位 (昭和十年度)32

附 錄 石川縣に於ける健康保險組合.....33

 歷代知事、警察部長、健康保險(署)課長.....34

工場.被保險者累年 比 較



(九) 療養の給付及傷病手当金の傷病類別 (昭和十一年度).....20

(十) 療養の給付の傷病轉歸別件數.....24

(十一) 死亡の原因調 (昭和十一年度).....25

第六 保險醫診療報酬分配狀況.....28

第七 保險齒科醫診療報酬分配狀況.....29

第八 給付機關.....29

第九 保健施設.....30

 (一) 一般施設.....30

 (二) 健康保險相談所.....30

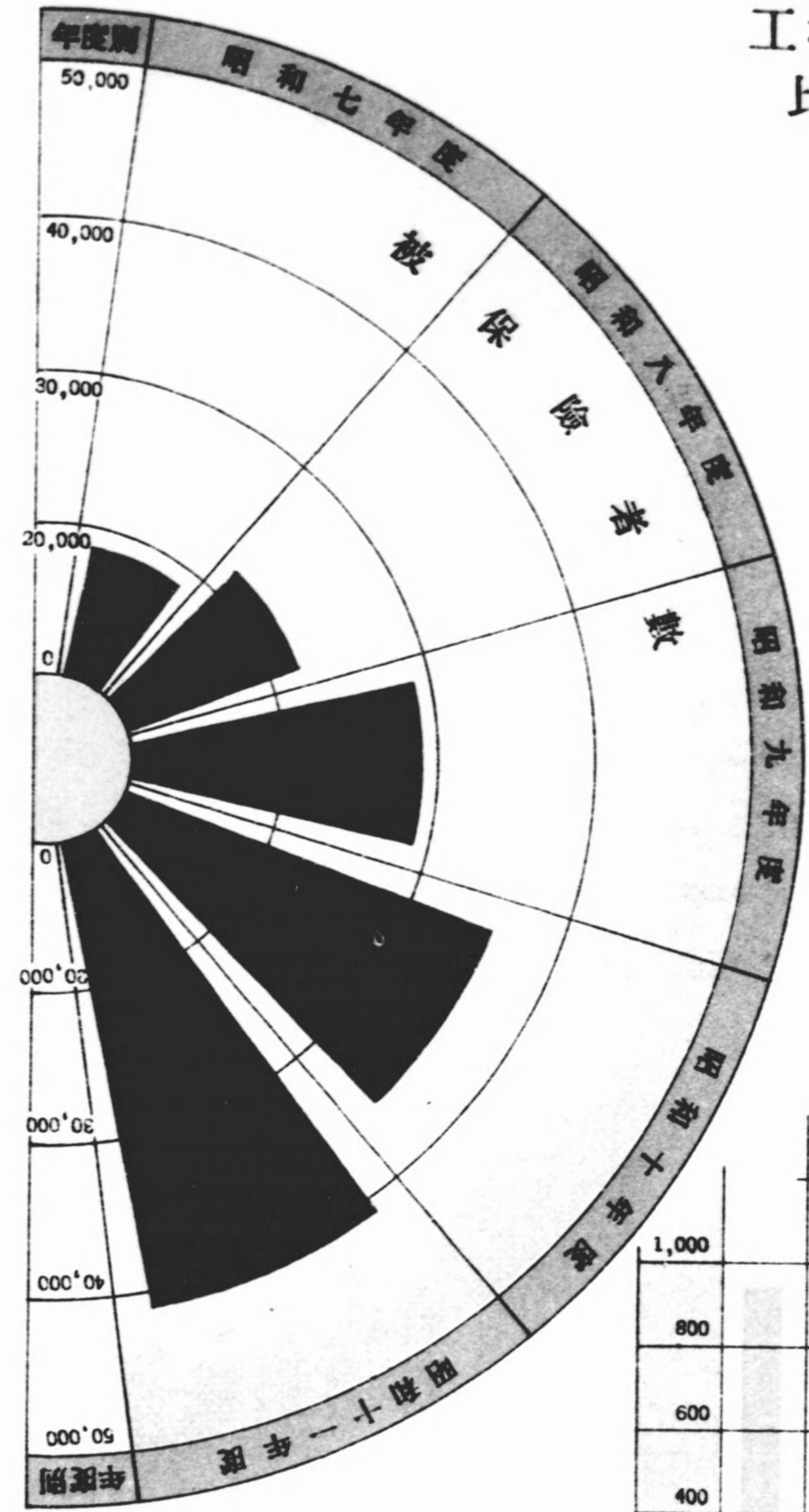
第十 保險經濟 (昭和十一年度).....32

第十一 健康保險より觀たる石川縣の地位 (昭和十年度).....32

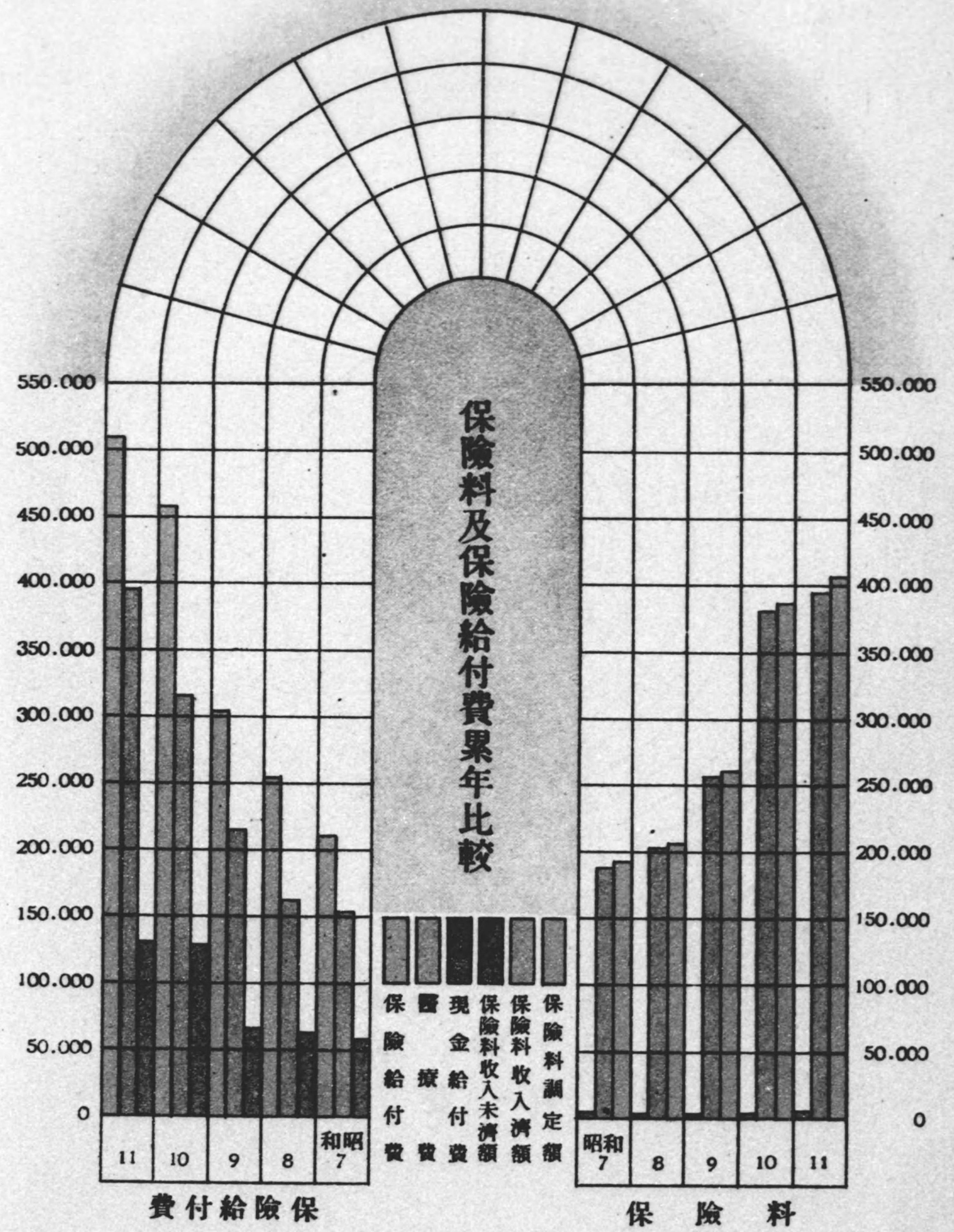
附 録 石川縣に於ける健康保險組合.....33

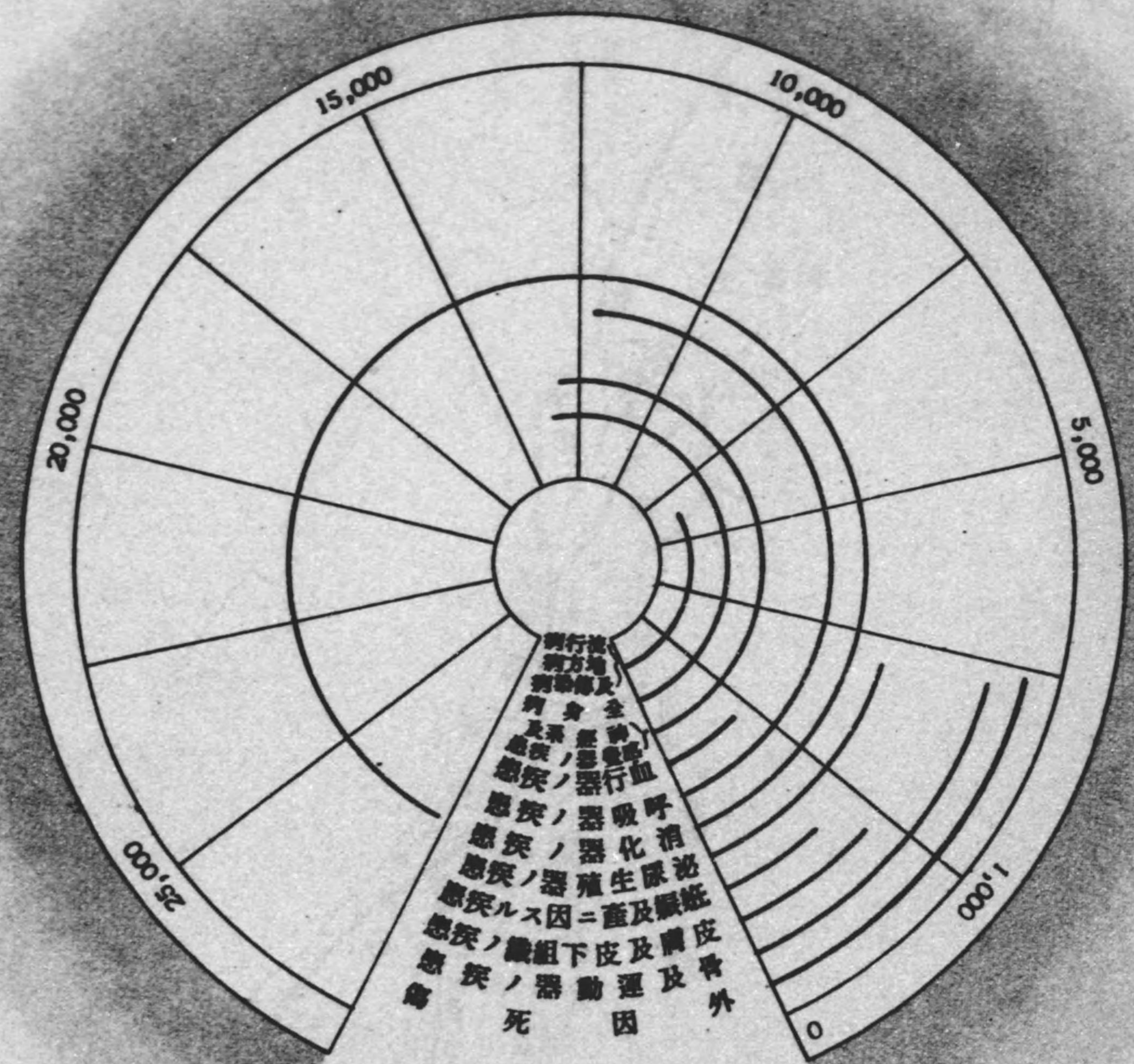
 歷代知事、警察部長、健康保險(署)課長.....34

工場.被保險者累年比較



年度別	昭和七年度	昭和八年度	昭和九年度	昭和十年度	昭和十一年度	年度別
工場數	800	850	900	950	1,000	0
						200
						400
						600
						800
						1,000
						1,200
						1,400
						1,600
						1,800
						2,000





昭和十一年度
 病類別
 療養件數

石川縣の沿革

本縣は遠き上古の時代から中世期に至るまでは、朝廷の直轄に屬して居たが壽永の頃には源義仲、加賀、能登の二ヶ國を併有し、鎌倉幕府となりて加賀は富樫氏に、能登は分れて元の國守によつて支配せられた。南北朝時代に至り加賀は北朝に屬し能登のみは何れにも屬せなかつた。足利氏の末から徳川氏天下の政權を握るまでは、加賀は本願寺の僧領より上杉氏を経て佐久間氏に移つたのであるが徳川氏諸侯配置に際し加賀、能登の二ヶ國は越中と共に前田氏の所領に歸し、後前田氏の支藩、大聖寺及富山に封ぜらるゝや其所領の一部を領つた。明治二年金澤、大聖寺、富山の各藩を置き同四年七月廢藩置縣と共に其所轄舊の如くなつたが同年更に加賀一ヶ國を以て金澤縣とし、能登一ヶ國及越中の一部を合して七尾縣の所轄とした、五年金澤縣を石川縣と改め七尾縣を廢し加賀、能登の二ヶ國を以て石川縣の所轄とした。

九年更に越中及越前の二ヶ國を加へ越前、加賀、能登、越中の四ヶ國を以て石川縣所轄としたが、十四年越前の國を十六年越中の國を分轄し爾來今日に至つた。現今加賀を分けて金澤市及江沼、能美、石川、河北の四郡とし能登を羽咋、鹿島、鳳至、珠洲の四郡に分ち更に郡内を區劃して183ヶ町村にして全戸數155,964 總人口787,618 となる。

石川縣の地勢

加賀は西南越前に接し東は飛騨、越中に接し、北は能登に連り西北一帯は日本海に面して居る。白山、大日山、妙法山、大門山、等東南に群聳して其山脈左右に分岐し越前、美濃、飛騨の諸國に跨る。又東に醫王山あり北に綿互して三國嶺に連り能登、越中二ヶ國の境に到る。國中平野少く地味肥瘠相半し土壤は概ね耕種に適す。面積2,176 萬杆244(141 方里)である。

能登は東南加賀及越中に接し其他は海に突出して一大半島を成して居る。半島の東部に七尾灣あり、灣の前面に島嶼あり能登島と稱し周圍71 杆(18 里)ある。又半島の西北に島嶼あり其大なるものをセツ島、触倉島と云ふ山岳は加賀に比し

高峻でないが寶達、石動の二山脈で富山縣と境を分ち其の外國內到る處岡峻が起伏し平地は極めて少ない、地味概して礫礫であるが海濱は殊に水産に富み面積は2,024方軒269(131方里)である。

健康保険の沿革

我國最初の社會保險の一部門たる健康保險法は大正十一年四月法律第七十號を以て公布せられ之れが實施準備中の處、偶々大正十二年九月一日關東大震災の變ありて經濟界に與ふる打撃甚大なりしを以て直ちに之れを施行し難き事情となり以て暫く之れを延期することとなり社會局に於ては引續き調査研究を續け遂に大正十六年(昭和二年)一月一日より實施の豫定を樹て、第五十二回帝國議會に健康保險法中改正法律案(附則改正)及健康保險特別會計法律案を提出し、大正十五年三月二十九日法律第三十四號及法律第二十六號を以て公布せられ、其結果健康保險法は大正十五年七月一日(但し保險給付及費用の負擔に關する規定は昭和二年一月一日)より、特別會計法は昭和二年一月一日より施行せられることとなり。之れに先立ち大正十五年八月勅令第二百七十二號を以て健康保險署官制制定せられ大正十五年十月一日より北海道に四ヶ所及各府縣に一ヶ所宛總計五十ヶ所の健康保險署を設置され、石川健康保險署は金澤市出羽町成巽閣を廳舎に充て署長以下關係職員が任命せられ事務を開始したり。

昭和二年一月一日より健康保險法の全部を實施すると同時に、石川第一次健康保險審査會が設置せられ、會長、委員、幹事、書記が任命せられたり。

昭和四年八月健康保險の事業は労働行政並衛生行政等と密接なる關係を有する事務を管掌する地方廳に移管せらるることとなり茲に石川健康保險署は創設滿二年十ヶ月にて廢止せられ石川縣警察部内に健康保險課が設置せられたり。

昭和四年及昭和九年の兩回に於て漸進的に法の改正ありて適用範圍擴張せられ本事業は益々圓滿なる進展を遂げつゝ今日に至れり。

昭和十一年度健康保險事業概況

被保險者

石川縣に於ける政府管掌の被保險者の總數は前年度末現在は36,871人、本年度内に於て資格取得及其他の事由に因る増加27,156人資格喪失及其他の事由に因る減少22,700人で本年度末現在數は前年度末現在數に比し4,456人増加して41,327人である。内男子被保險者は15,790人にして總數の3割8分、女子被保險者は25,537人にして總數の6割2分である。之を被保險者の種類に依り區別すれば次の如くである。

1. 強制被保險者	41,320人
1. 任意包括被保險者	4人
1. 任意繼續被保險者	3人
計	41,327人

以上の被保險者の標準報酬日額は男子被保險者に在りては第7級最も多く3,449人にして、男子被保險者の2割1分を占め、第8級2,061人之に次ぐ女子被保險者に在りては第3級最も多く6,261人にして女子被保險者の2割5分を占め、第4級5,851人之に次ぐ。而して之等の平均標準報酬日額は男子被保險者は91錢2厘、女子被保險者は54錢8厘、計68錢7厘である。又之を前年度に比較するに男子被保險者に在りては5厘、女子被保險者に在りては6厘、計7厘の低下を示してゐる。

工場、事業場及事業數

被保險者を使用する工場、事業場及事業數の總數は1,991人である。内工場數1,896之に使用せらるゝ被保險者39,331人續業法適用の事業場數5、之に使用せらるゝ被保險者630人、其の他の事業數88、之に使用せらるゝ被保險者2,369人、任意包括被保險者を使用する事業數2、被保險者數4人である。

又之を業務の種類に依り區別すれば染織工場は1,091被保險者數29,016人、機械器具工場は285、被保險者數3,614人、化學工場は55、被保險者數1,987人、飲食物工場は27、被保險者數285人、雜工場は380、被保險者數3,175人特別工場は58、

被保険者数244人、鑛山は5、被保険者数630人、其の他の事業は88、被保険者数2,369人、任意包括被保険者使用事業は2、被保険者数4人である。

保 險 料

保険料の徴収状況は前年度内に於ける調定保険料381,893圓36銭、収入済額380,011圓76銭、収入未済額1,881圓60銭にして、本年度内の調定保険料400,824圓44銭、収入済額398,559圓18銭、収入未済額2,056圓2銭（不納欠損額209圓24銭）にして之を前年度に比較すれば、調定保険料18,931圓8銭、収入済額18,547圓42銭の増加である。

保 險 給 付

前年度中に於ける保険給付の総件数102,738件、総日数1,423,647日及之に要したる費用額468,147圓33銭にして、本年度中の総件数105,129件、総日数1,592,231日、之に要したる費用額523,029圓07銭、之を前年度に比較するに件数に於て2,391件、日数に於て168,584日及び費用額54,881圓74銭の増加である。

(1) 療養の給付

本年度中に於ける療養の給付の総件数95,134、総日数1,360,994件、之に要したる費用額389,813圓38銭にして保険給付の総件数に對して9割、総日数に對して8割5分及總費用額に對して7割4分である、而して療養の給付件数を其の發生の原因に依り區別すれば、業務上の事由に因るもの3,632件、業務上の事由に因らざるもの91,502件にして其の總件数に對する割合は業務上の事由に因るものは4分、業務上の事由に因らざるものは9割6分である。又前年度に比較するに、件数に於て3,199件、日数に於て168,059日、費用額に於て57,719圓84銭の増加である。

(2) 療 養 費

療養の給付に代へて療養の支給を爲したるもの、件数は162件、日数は2,755日、之に要した金額は1,709圓82銭にして之を前年に比較するに件数に於て117件、日数に於て1,614件、金額に於て801圓64銭の増加である。

(4)

(3) 傷病手當金

傷病手當金を支給したるもの、件数は4,887件、日数は180,716日、之に對する支給額は78,990圓45銭にして、之を前年度に比較するに、件数に於て387件、日数に於て112件の減少、支給額に於て57,898圓32銭の増加である。

尙傷病手當金の件数、日数及支給額に就き發生の原因に因り區別すれば、事務上の事由に因るもの522件及び日数10,358日、此の支給額6,019圓21銭、事務上の事由に因らざるもの4,365件及び日数170,358日、此の支給額72,971圓24銭である。其の總件数、日数及支給額に對する割合は業務上の事由に因るもの、件数は1割1分、日数は5分及支給額は7分にして業務上の事由に因らざるもの件数は8割9分、日数は9割5分及支給額は9割3分である。

(4) 埋 葬 料 (埋葬費)

埋葬料を支給したるもの、件数は383件にして、之に對する支給額は11,680圓04銭である。之を前年度に比較するに件数に於て増減なく支給額に於て668圓96銭の増加である。

(5) 分 挽 費

分挽費を支給したるもの、件数は1,562件にして之に對する支給額は15,650圓である、之を前年度に比較するに件数に於て216件及支給額に於て2,170圓の減少である。

(6) 助 産 の 手 當

助産の手當を爲したるもの、件数は1,510件、之に對する支給額は7,303圓40銭である。之を前年度に比較するに件数に於て253件及支給額に於て1,189圓20銭の減少である。

(7) 出 産 手 當 金

出産手當金を支給したるもの、件数は1,491件、之に對する支給額は17,881圓98銭である。之を前年度に比較するに件数に於て69件及支給額に於て326

(5)

圓 34 錢の減少である。

給付機關

本年度末現在に於ける被保険者の診療並に調劑、助産の手當を擔當する保険醫又は保険藥劑師、保険産婆等は次の如くである。

- 1. 保 險 醫 536 人
 - 内 醫師たる保険醫 436 人
 - 齒科醫師たる保険醫 100 人
- 2. 保 險 藥 劑 師 82 人
- 3. 保 險 産 婆 401 人
- 4. 金澤醫科大學附屬醫院

以上の外、石川縣柔道整復術會及金城看護婦會は被保険者の傷病に關する給付を擔當してゐる。

保 險 施 設

本年度内に於て被保険者の休位向上の爲實施したる保健施設の状況は次の如くである。

(1) 保健宣傳に關する施設

- 保健宣傳ポスター及パンフレット配付 4 回
- 保健衛生講演會並活動寫眞映畫會 44 回 聽講、觀覽者 19,599 人

(2) 傷病に關する施設

- 巡回健康相談 8 回 受相談被保険者 1,347 人

(3) 体育獎勵の施設

- 軟式野球大會 1 回 参加被保険者 180 人
- 女子排球大會 1 回 参加被保険者 47 人

(4) 外科處置施設

- 外科外處置受療者 1 人

(5) 健康保險相談所

- 健康相談 6,355 人
- レントゲン検査 3,135 人
- 太陽燈照射 13,479 人
- 各種材料検査 3,332 件

健康保險の一般的事務の相談又は指導若は手續の代行 378 件

(6) 其 の 他

五ヶ年健康者表彰 1 回 77 人

(1) 保 險 醫 座 談 會

昭和十一年度健康保險の診療契約締結に伴ふ改善事項に基き保険醫に對し關係法令並に改正診療方針の周知徹底を圖り本事業の圓滿適切なる運用を期する目的を以て石川縣醫師會と協力し、各郡市醫師會主催にて保険醫座談を 8 回開催 252 名の出席者があつた。

(2) 結核豫防國民振興週間に於ける施設

内務省主催にて結核豫防展覽會を昭和十一年十一月二十二日より、同二十八日迄金澤市に於て開催を機とし各關係課並各種團體と連絡協調を保ち右週間、金澤市 9 工場、各郡に於ては工場集團地 33 ヶ所を選定し結核豫防講演會並活動寫眞會を開催し結核病豫防思想の普及啓發に努めた。聽講觀覽被保険者 17,298 人其他 13,353 人である。又石川縣健康保險相談所に於ては本週間は執務時間を延長し、一般にも開放し結核病の早期發見並健康相談の求めに應じた。

(3) 健康保險法實施十周年記念式典

健康保險法實施十周年記念事業協會總裁内務大臣より感謝狀並記念品を授與さるゝ石川縣關係者 90 名に對し、昭和十二年三月二十五日、本縣正廳に於て傳達式を舉行した。

以上記述した通り昭和十一年度中に於ける本事業の成績は、例年に比し幾分好調を見たるも各種事業の進興に伴ひ若干好轉の兆ありと雖、染織工場を主とする本縣産業界は未だ充分な伸展を見ず、従つて健康保險事業には好影響を波及すに至らず、依然として保險經濟即ち收支状況は困難なる状態にあるを以て保險料の徴收、就中滞納保險料の整理、標準報酬の是正、被保険者の資格届出の勵行、保險給付の適正、各種手當金の不當請求の防止等に努め本法運用上遺憾なきを期した。

第一 職員

大正十五年十二月一日現在の関係職員は僅に12名なるも其の後、本縣産業界の進展に伴ひ累年増加し、昭和十一年度末現在数は次の如くである。

健康保険課長	技師	嘱託醫	係名	屬	視察員	雇 (臨時雇)	給仕	小使	計
	1(兼)	1(兼) 2(無給)	庶務係 徴収係 給付係	4 4 4	— 1 2	6 11 10	1	2	49
		健康保険所 健康相談所	嘱託醫 事務 レントゲン 看護婦 嘱託	1 1 1	2 1	1	1	6	

第二 石川第一次健康保険審査會

(昭和十一年度末現在)

被保険者の権利救済の爲健康保険審査會がある。之は保険給付に関する決定に不服ある被保険者から審査の請求があつた場合、其の適否を審査決定する機關で其の組織は次の如くである。尙本縣では昭和八年十二月六日審査決定したことがある。

會長	委員			幹事	書記
	官公吏又ハ學 識経験アル者	事業主	被保険者		
知事	3	3	3	(健康保 險課長) 1	(關) 2

第三 工場、事業場、事業数及被保険者数 (年度末現在)

既往五年間に於ける工場、事業場、事業数及被保険者数は次の如くである。即ち昭和十一年度は最も多く、之を地域的に分布状態を見れば工場、事業場及事業数は能美郡最も多く總数の2割9分、金澤市之に次ぐ、又被保険者数は金澤市最も多く總数の2割6分、能美郡之に次ぐ、尙昭和十年度に於て激増を示したるは法の改正に依り適用範圍の擴張せられた結果である。

年度別	工場事業場 及事業数	被保険者数		
		總数	男	女
昭和七年度	950	19,720	6,230	13,490
昭和八年度	987	22,815	7,497	15,318
昭和九年度	1,175	29,532	9,739	19,793
昭和十年度	1,832	36,871	14,250	22,621
昭和十一年度	1,991	41,327	15,790	25,537
金澤市	491	11,118	6,499	4,619
江沼郡	231	5,874	1,459	4,415
能美郡	594	8,814	2,047	6,767
石川郡	200	3,113	1,524	1,589
河北郡	143	3,395	678	2,717
羽咋郡	64	2,090	554	1,536
鹿島郡	185	5,857	2,203	3,654
鳳至郡	67	439	343	96
珠洲郡	16	627	483	144

(一) 業態別工場事業場事業数及被保険者数 (年度末現在)

既往五年間に於ける業態別の工場、事業場、事業数及被保険者数は次の如くである。尙昭和十一年度に於ける工場は染織工場の織物業最も多く總数の4割6分、雑工場の木竹、蓼、莖製品業之に次ぐ、又被保険者は染織工場の織物業最も多く總数の6割1分機械器具工場の機械製造業之に次ぐ。

業 種 別	昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度		昭和十一年度	
	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数
總 数	950	19,720	987	22,815	1,175	29,532	1,832	36,871	1,991	41,327
染 織 工 場	414	14,590	439	16,657	569	22,096	1,010	25,589	1,091	29,016
製 糸 業	7	552	8	593	4	625	6	196	45	540
製 糸 業	39	1,348	41	1,482	46	1,469	74	1,253	46	1,544
製 織 物 業	14	110	16	114	17	102	18	97	23	136
織 物 業	341	12,142	354	13,697	476	18,857	876	22,697	931	25,268
染色整理其他加工業	6	328	8	559	9	739	16	1,035	19	1,117
組物及編物業	7	110	12	212	17	304	17	311	27	411
機 械 器 具 工 場	169	1,621	176	2,086	212	3,085	265	3,270	285	3,614
機 械 製 造 業	90	913	111	1,112	130	1,745	150	1,923	135	2,362
船 舶 及 車 輛 製 造 業	5	108	11	138	11	170	17	302	10	186
器 具 製 造 業	24	144	18	135	27	105	39	253	91	268
金 屬 品 製 造 業	50	456	36	701	44	1,065	59	792	49	798
化 學 工 場	47	1,400	53	1,871	53	1,864	81	2,188	55	1,987
窯 製 業	23	810	24	1,183	25	1,309	29	1,385	32	1,443
紙 製 業	2	115	3	125	3	118	4	131	4	136
火 物 製 造 業	2	37	2	26	2	24	2	29	2	21
油 製 業	—	—	1	1	1	1	1	1	1	1
瀝 製 業	4	75	4	88	4	81	4	86	4	82
染料塗料顔料糊料類 製造業	5	25	9	34	5	24	10	38	6	40
製 藥 業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
人 造 肥 料 製 造 業	1	100	1	97	1	117	2	115	1	106
其 他	9	237	8	316	11	189	3	144	4	157
飲 食 物 工 場	14	129	14	134	15	144	23	268	27	285
釀 造 業	—	—	—	—	—	—	1	10	1	9
ラムネ、水及礦泉水 製造業	7	32	8	30	9	40	9	103	11	35
製 菓 業	4	81	4	91	4	89	9	125	8	132
水 産 品 製 造 業	—	—	—	—	—	—	—	—	1	11
其 他	3	16	2	13	2	15	4	30	6	98
雜 工 場	245	1,680	236	1,766	252	1,873	332	2,665	380	3,175
印 刷 及 製 本 業	12	358	12	370	12	368	33	525	30	528
木、竹、藁及藁製品業	158	548	154	552	157	577	195	763	231	1,072
皮 革 製 品 業	—	—	—	—	—	—	1	7	1	7
其 他	75	774	70	844	83	928	103	1,370	118	1,568
特 別 工 場	58	256	60	246	62	266	54	232	58	244
電 氣 業	56	234	58	225	60	245	52	211	56	221

(續)

業 種 別	昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		昭和十年度		昭和十一年度	
	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数	工場 事業数	被保険 者数
瓦 所 業	2	22	2	21	2	21	2	21	2	23
鑛 山	1	25	2	12	3	149	3	161	5	630
金 屬 山	1	25	2	12	1	11	2	21	2	76
其ノ他非金屬山	—	—	—	—	2	138	1	140	3	554
其ノ他ノ事業	—	—	—	—	—	—	88	2,751	88	2,369
物ノ解体ノ事業	—	—	—	—	—	—	—	—	1	14
鑛物ノ採掘又ハ採取ノ事業	—	—	—	—	—	—	7	696	5	213
電氣ノ傳導又ハ動力ノ發生若ハ傳導ノ事業	—	—	—	—	—	—	24	304	22	285
地方鐵道法又ハ軌道法ノ適用ヲ受ル事業	—	—	—	—	—	—	10	730	12	769
自動車荷牛馬車又ハ荷車ニ依ル運送ノ事業	—	—	—	—	—	—	47	1,021	48	1,088
任意包括被保険者使用事業	2	8	7	41	9	48	1	2	2	4

(二) 被保険者異動状況

既往五年間に於ける被保険者の異動は次の如くである、即ち昭和十年度は最も多い之は法の改正に依り適用範囲の擴張せられた結果である。尙昭和十一年度の各月の異動は四月分最も多く三月分之れに次ぐ。

年 度 別	増	減	差引増減	年 度 末 現 在
昭 和 七 年 度	12,464	10,446	2,018	19,720
昭 和 八 年 度	13,538	10,443	3,095	22,815
昭 和 九 年 度	22,955	16,238	6,717	29,532
昭 和 十 年 度	29,410	22,071	7,339	36,871
昭 和 十 一 年 度	27,156	22,700	4,456	41,327
四 月	4,074	3,154	920	37,791
五 月	2,542	2,008	534	38,325
六 月	2,424	1,592	832	39,157
七 月	1,531	1,289	242	39,399
八 月	2,285	1,916	369	39,768
九 月	1,996	1,823	173	39,941
十 月	1,965	1,817	148	40,089
十 一 月	1,875	1,703	172	40,261
十 二 月	1,813	1,552	261	40,522
昭 和 十 二 年 一 月	1,708	1,589	119	40,641
二 月	1,993	1,923	70	40,711
三 月	2,950	2,334	616	41,327
平 均	2,263	1,891	371	39,827

(三) 標準報酬等級別被保険者数 (保険料率百分ノ四)

既往五年間に於ける標準報酬等級別被保険者数は次の如くである。即ち平均標準報酬日額は昭和七年度最も高く累年低下を示してゐる。尙昭和十一年度末現在に於ける標準報酬等級被保険者数は第3級最も多く總数の1割5分、第4級之に次ぐ、又各月末現在数は次の如くである。

年度別	第一級	第二級	第三級	第四級	第五級	第六級	第七級	第八級	第九級
昭和七年度	2,773	3,530	4,172	2,897	1,660	988	1,530	1,038	663
昭和八年度	3,249	4,342	4,790	3,469	1,847	1,146	1,770	1,050	649
昭和九年度	3,524	5,329	5,619	4,766	3,058	2,051	2,593	1,244	760
昭和十年度	3,995	5,234	6,486	6,024	4,031	3,189	4,001	1,962	1,130
昭和十一年度	4,151	5,847	7,670	7,196	4,709	3,232	4,369	2,110	1,221
四五七八 月	4,614	5,544	6,586	6,004	3,978	3,184	4,008	1,943	1,119
月	4,871	5,703	6,718	6,026	3,955	3,128	4,041	1,950	1,119
月	5,161	5,866	6,900	6,114	3,990	3,155	4,036	1,979	1,114
月	3,179	4,884	6,967	7,182	4,887	3,552	4,594	2,086	1,222
月	3,376	5,079	7,151	7,155	4,849	3,477	4,530	2,092	1,220
九十年 月	3,528	5,212	7,208	7,166	4,811	3,421	4,458	2,085	1,219
月	3,605	5,348	7,310	7,163	4,770	3,364	4,397	2,078	1,215
月	3,628	5,472	7,386	7,161	4,748	3,335	4,381	2,086	1,227
月	3,781	5,606	7,444	7,157	4,743	3,267	4,375	2,094	1,217
昭和十二年一月	3,865	5,662	7,519	7,139	4,725	3,242	4,359	2,087	1,209
二月	3,930	5,740	7,564	7,080	4,685	3,193	4,366	2,104	1,222
三月	4,151	5,847	7,670	7,196	4,709	3,232	4,369	2,110	1,221
年度別	第十級	第十一級	第十二級	第十三級	第十四級	第十五級	第十六級	計	平均標準報酬日額
昭和七年度	275	126	37	17	12	2	—	19,720	656
昭和八年度	295	122	48	19	18	—	1	22,815	641
昭和九年度	349	139	51	30	14	4	1	29,532	653
昭和十年度	525	156	82	34	15	5	2	36,871	694
昭和十一年度	523	168	71	32	20	5	3	41,327	687
四五七八 月	518	155	82	34	15	5	2	37,791	684
月	523	155	81	33	15	5	2	38,325	680
月	523	155	81	33	14	4	2	39,157	675
月	542	169	70	36	21	5	3	39,399	711
月	536	171	69	34	21	5	3	39,768	705
九十年 月	533	168	69	34	21	5	3	39,941	701
月	538	168	70	34	21	5	3	40,089	699
月	538	169	68	33	21	5	3	40,261	697
月	541	166	69	33	21	5	3	40,522	694
昭和十二年一月	539	165	68	33	21	5	3	40,641	692
二月	532	165	69	33	20	5	3	40,711	691
三月	523	168	71	32	20	5	3	41,327	687

第四 保 險 料

既往五年間に於ける保険料の調定済額、収入済額は次の如くである。即ち昭和八年度の収入成績は最も良い。

年度別	調定済額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	調定額ニ對スル収入歩合	被保険者一人當保險料
昭和七年度	184,577.20	182,900.87	497.66	1,178.67	0.991	9.724
昭和八年度	203,023.33	202,453.86	5.27	564.20	0.998	9.649
昭和九年度	253,913.90	252,727.54	77.92	1,108.44	0.995	9.733
昭和十年度	381,893.36	380,011.76	—	1,881.60	0.995	10.096
昭和十一年度	400,824.44	398,559.18	209.24	2,056.02	0.994	10.069

(一) 保險料納入状況

昭和十一年度に於ける保険料(組替、隨時調定を除く)の納入成績を月別に見れば次の如くである。即ち3月分の成績は最も良く5月分之二に次ぐ。

月別	調定済額	納期限迄収入済額	収入歩合	納期限後収入済額	収入未済額	全収入歩合
四五七八 月	30,326.88	24,192.54	0.758	5,185.14	949.20	0.969
月	31,641.87	24,423.15	0.772	6,371.97	846.75	0.974
月	30,831.68	24,191.53	0.785	5,721.91	918.24	0.970
月	34,191.86	26,521.11	0.775	6,612.90	1,057.85	0.969
月	33,989.18	26,710.79	0.786	5,811.44	1,466.95	0.956
九十年 月	33,163.75	25,872.28	0.780	6,113.17	1,178.30	0.964
月	34,086.48	25,612.62	0.751	7,411.17	1,062.69	0.969
月	33,072.03	31,633.00	0.956	539.01	900.02	0.973
月	34,466.92	23,120.37	0.671	10,157.13	1,189.42	0.965
昭和十二年一月	34,014.19	23,347.94	0.686	9,397.58	1,268.67	0.962
二月	30,965.35	25,080.58	0.809	4,591.25	1,293.52	0.958
三月	35,184.49	34,176.65	0.971	549.85	457.99	0.987
平均	32,994.55	26,240.21	0.795	5,705.21	1,049.13	0.968

(二) 督促及滞納處分状況

既往五年間に於ける保険料の督促及滞納處分を爲したるものは次の如くである。即ち昭和十一年度は最も多い。

年度別	督促状發付数	差押件数	公賣執行件数	市町村ニ滞納処分ヲ受テシタルモノ	市町村ニ於テ滞納シタルモノ	滞納處分引当額		滞納處分引受額	
						件数	金額	件数	金額
昭和七年度	23	—	—	—	—	1	4.56	2	6.78
昭和八年度	949	3	—	—	—	—	—	—	—
昭和九年度	862	3	—	—	—	—	—	12	23.74
昭和十年度	1,235	3	1	—	—	1	4.69	—	—
昭和十一年度	1,745	5	—	—	—	6	17.90	—	—

第五 保 險 給 付

既往五年間に於ける保険給付の件数、日数及費用額は次の如くである。即ち昭和十一年度は最も多い。尙昭和十年度に於て激増を示したるは法の改正に依り適用範囲の擴張せられた結果である。

年度別	件 数			日 数			費用額	被保険者一人當		
	男	女	計	男	女	計		件数	日数	費用額
昭和七年度	17,253	32,284	49,537	239,500	440,834	680,334	225,519.60	2.51	34.50	11.436
昭和八年度	16,849	39,384	56,233	277,863	503,610	781,473	250,740.57	2.47	34.34	10.990
昭和九年度	23,114	45,431	68,545	333,302	679,479	1,012,781	305,507.53	2.32	34.29	10.345
昭和十年度	43,422	59,316	102,738	612,263	811,384	1,423,647	468,147.33	2.63	37.78	12.415
昭和十一年度	45,006	60,123	105,129	676,643	915,588	1,592,231	523,029.07	2.56	40.00	13.133

(一) 傷病に関する給付

既往五年間に於ける傷病に関する給付の件数、日数及費用額は次の如くである。即ち昭和十一年度は最も多く保険給付総額に對し8割9分を占めてゐる。

年度別	療養ノ給付			療養費			傷病手當金			費用額及金額計	被保険者一人當金額
	件数	日数	費用額	件数	日数	金額	件数	日数	金額		
昭和七年度	43,850	565,497	160,551.26	7	204	155,722.643	80,847	33,926.55	194,633.53	9.869	
昭和八年度	49,812	652,870	178,417.44	6	176	201,492,849	94,575	38,760.03	217,378.96	9.527	
昭和九年度	61,563	862,887	221,139.68	2	79	55,303,356	116,900	47,981.57	269,176.55	9.114	
昭和十年度	91,935	1,192,935	332,093.54	45	1,101	908,185,274	180,828	79,613.61	412,615.33	11.190	
昭和十一年度	95,134	1,360,994	389,813.38	162	2,755	1,709,824,887	180,716	78,990.45	470,513.65	11.814	

(二) 死亡に関する給付

既往五年間に於ける死亡に関する給付の件数及費用額は次の如くである。即ち昭和十一年度は最も多く、保険給付総額に對し2分2厘を占めてゐる。

年度別	埋葬料		埋葬費		計		一件當金額	被保険者一人當金額
	件数	金額	件数	費用額	件数	金額		
昭和七年度	86	2,832.00	87	2,031.27	173	4,863.27	28.111	0.246
昭和八年度	104	3,381.00	101	2,259.17	205	5,640.17	27.513	0.247
昭和九年度	162	5,247.00	119	2,730.26	281	7,977.26	28.388	0.270
昭和十年度	239	7,620.00	144	3,391.08	383	11,011.08	28.749	0.298
昭和十一年度	320	10,167.00	63	1,513.04	383	11,680.04	30.496	0.282

(三) 分娩に関する給付

既往五年間に於ける分娩に関する給付の件数、日数及費用額は次の如くである。即ち昭和十年度は最も多く保険給付総額に對し9分5厘、又昭和十一年度は7分8厘を占めてゐる。

年度別	分娩費		助産ノ手當		出産手當金		金額及費用額計	被保険者一人當金額
	件数	金額	件数	報酬額	件数	金額		
昭和七年度	1,007	10,100.00	946	4,598.20	911	33,786	11,324.60	26,022.80
昭和八年度	1,119	11,200.00	1,103	5,365.68	1,139	33,852	11,155.76	27,721.44
昭和九年度	1,151	11,520.00	1,114	5,363.80	1,078	32,915	11,469.92	28,353.72
昭和十年度	1,778	17,820.00	1,763	8,492.60	1,560	48,783	18,208.32	44,520.92
昭和十一年度	1,562	15,650.00	1,510	7,303.40	1,491	47,766	17,881.98	40,835.38

(四) 保険給付の件数、日数及費用額

昭和十一年度に於ける保険給付を類別すれば次の如くである。即ち一般診療は最も多く保険給付の総額に對し5割7分、傷病手當金は1割5分を占めてゐる。

種 別	件 数	日 数	費用額及金額	被保険者一人當		
				件数	日数	金額
總 計	105,129	1,592,231	523,029.07	2.56	40.00	13.133
1. 傷病ニ關スル給付	100,183	1,544,465	470,513.65	2.52	38.78	11.814
(1) 療養ノ給付	95,134	1,360,994	389,813.38	2.39	34.17	9.788
一般診療	85,919	1,276,099	298,641.93	2.16	32.05	7.498
{ 業務 計務 上	3,569	38,847	—	0.09	0.98	—
{ 業務 計務 外	82,350	1,237,252	—	2.07	31.07	—
{ 業務 計務 上	1,615	35,066	56,381.61	0.04	0.88	1.416
{ 業務 計務 外	28	657	820.54	—	0.02	20
{ 業務 計務 上	1,587	34,409	55,561.07	0.04	0.86	1.395
{ 業務 計務 上	7,536	48,988	33,250.14	0.19	1.23	835
{ 業務 計務 外	32	228	—	—	0.01	—
{ 業務 計務 上	7,504	48,760	—	0.19	1.22	—
{ 業務 計務 上	64	841	1,539.70	—	2	39
{ 業務 計務 外	3	68	89.70	—	—	2
{ 業務 計務 上	61	773	1,450.00	—	2	36
(2) 療養費	162	2,755	1,709.82	—	7	42
{ 業務 計務 上	94	1,110	536.30	—	3	13
{ 業務 計務 外	68	1,645	1,173.52	—	4	29
(3) 傷病手當金	4,887	180,716	78,990.45	0.12	4.54	1.983
{ 業務 計務 上	522	10,358	6,019.21	0.01	0.26	153
{ 業務 計務 外	4,365	170,358	72,971.24	0.11	4.28	1.832

(續)

種 別	件 數	日 數	費用額及金額	被 保 險 者 一 人 當		
				件 數	日 數	金 額
2. 死亡ニ關スル給付	383	—	11,680.04	0.01	—	293
埋葬料 { 業務 計務 上外	320	—	10,167.00	0.01	—	256
	5	—	150.00	—	—	4
	315	—	10,017.00	0.01	—	252
埋葬費 { 業務 計務 上外	63	—	1,513.04	—	—	38
	1	—	28.40	—	—	1
	62	—	1,484.64	—	—	37
3. 分鏡ニ關スル給付	4,563	47,766	40,835.38	0.12	1.20	1.025
分助出 焼ノ手 産ノ手 産ノ手 當金	1,562	—	15,650.00	0.04	—	393
	1,510	—	7,303.40	0.04	—	183
	1,491	47,766	17,881.98	0.04	1.20	449

(五) 傷病に關する給付の月別

昭和十一年度中に於ける傷病に關する給付の各月の件數、日數及費用額は次の如くである。即ち10月分最も多く、12月分次に次ぐ。

種 別	一般診療	醫科大學診療	齒科診療	看護	療養費	傷病手当金	計	被保險者一人當
總數	115,278	2,406	7,694	64	162	5,551	131,155	3.29
件數	1,276,099	35,066	48,988	841	2,755	180,716	1,544,465	3.89
費用額又金額	298,641.93	56,381.61	33,250.14	1,539.70	1,709.82	78,990.45	470,513.65	11.814
四月	9,664	49	584	—	—	—	10,297	0.26
件數	92,954	1,861	3,375	—	—	—	98,190	2.60
費用額又金額	23,330.93	3,124.19	2,597.56	—	—	—	29,052.68	7.69
五月	7,593	64	670	6	32	488	8,853	0.23
件數	96,511	2,722	4,398	74	1,150	15,211	120.66	3.15
費用額又金額	23,858.51	4,400.50	2,656.36	135.70	874.10	6,760.15	38,685.32	1,009
六月	7,661	237	666	8	1	415	8,988	0.23
件數	109,895	2,905	4,055	95	5	14,847	131,802	3.37
費用額又金額	24,242.03	4,525.24	2,699.06	174.15	20.35	6,353.42	38,014.25	971
七月	8,770	240	684	3	1	385	10,083	0.26
件數	129,532	2,792	4,368	38	91	14,093	150,914	3.83
費用額又金額	24,691.56	5,226.57	2,749.11	79.50	66.90	6,139.69	38,953.33	9.89
八月	12,070	229	732	7	14	579	13,631	0.34
件數	127,660	3,348	4,494	94	236	16,937	152,769	3.84
費用額又金額	24,887.72	5,855.27	2,770.95	182.30	125.47	7,414.93	41,236.64	1,037
九月	12,437	276	694	14	2	528	13,951	0.35
件數	122,829	3,036	4,385	192	10	17,320	147,772	3.70
費用額又金額	25,086.39	5,656.51	2,793.07	369.90	5.90	7,447.47	41,359.24	1,036

(續)

種 別	一般診療	醫科大學診療	齒科診療	看護	療養費	傷病手当金	計	被保險者一人當
十月	11,128	236	512	8	16	896	12,796	0.32
件數	115,531	3,217	4,229	105	239	28,425	151,746	3.79
費用額又金額	25,173.15	5,408.01	2,802.73	193.75	146.71	11,617.99	45,342.34	1.131
十一月	7,380	217	627	3	2	499	8,728	0.22
件數	98,560	3,209	4,126	31	16	16,988	122,930	3.05
費用額又金額	25,233.51	4,116.31	2,809.45	56.45	12.52	7,506.95	39,735.19	9.87
十二月	9,255	242	647	6	21	859	11,030	0.27
件數	99,432	3,434	3,827	53	200	27,991	134,937	3.33
費用額又金額	25,443.50	4,881.39	2,832.83	91.10	105.92	11,860.13	45,214.87	1.116
昭和十一年一月	9,316	183	524	3	6	277	10,309	0.25
件數	88,947	2,553	3,528	86	84	10,906	106,104	2.61
費用額又金額	25,469.28	3,724.29	2,835.70	123.00	42.05	4,569.09	36,763.41	9.05
二月	9,338	204	620	2	3	229	10,397	0.26
件數	87,688	2,735	3,697	19	47	4,052	98,238	2.41
費用額又金額	25,571.13	4,307.89	2,847.04	34.75	25.70	3,792.67	36,579.18	8.99
三月	10,667	227	734	—	12	81	11,721	0.28
件數	106,559	3,194	4,506	—	141	1,892	116,292	2.81
費用額又金額	25,654.12	5,004.79	2,856.28	—	63.80	924.98	34,503.97	8.35
四月	—	—	—	4	52	315	371	0.01
件數	—	—	—	54	536	12,054	12,644	0.32
費用額又金額	—	—	—	99.10	220.40	4,602.98	4,922.48	1.24

(六) 死亡に關する給付の月別

昭和十一年度中に於ける死亡に關する給付の各月の件數及費用額は次の如くである。即ち12月分最も多く10月分次に次ぐ。

種 別	埋葬料	埋葬費	計	被保險者一人當リ
總數	320	63	383	0.01
金額又費用額	10,167.00	1,513.04	11,680.04	293
四月	—	—	—	—
金額又費用額	—	—	—	—
五月	31	10	41	0.001
金額又費用額	1,002.00	248.62	1,250.62	33
六月	20	5	25	0.001
金額又費用額	636.00	116.70	752.70	19
七月	22	12	34	0.001
金額又費用額	723.00	289.65	1,012.65	26

(續)

種 別	埋葬料	埋葬費	計	被保険者 一人當リ
八月 {件 數 金額又費用額	25 822.00	7 172.52	32 994.52	0.001 25
九月 {件 數 金額又費用額	29 897.00	21 487.52	50 1,384.52	0.001 35
十月 {件 數 金額又費用額	41 1,266.00	5 121.33	46 1,387.33	0.001 35
十一月 {件 數 金額又費用額	26 807.00	— —	26 807.00	0.001 2
十二月 {件 數 金額又費用額	58 1,857.00	3 76.70	61 1,933.70	0.002 48
昭和十一年一月 {件 數 金額又費用額	21 666.00	— —	21 666.00	0.001 16
二月 {件 數 金額又費用額	31 984.00	— —	31 984.00	0.001 24
三月 {件 數 金額又費用額	— —	— —	— —	— —
四月 {件 數 金額又費用額	16 507.00	— —	16 507.00	0.000 13

(七) 分娩に関する給付の月別

昭和十一年度に於ける分娩に関する給付の各月の件数、日数及費用額は次の如くである。即ち5月分最も多く8月分次に次ぐ。

種 別	分娩費	助産手當	出産手當金	計	被保険者 一人當リ
總 數 {件 數 金額又報酬	1,562 15,650.00	1,510 7,303.40	1,698 17,881.98	4,770 40,835.38	0.12 1.20 1025
四月 {件 數 金額又報酬	— —	— —	— —	— —	— —
五月 {件 數 金額又報酬	218 2,190.00	191 928.80	239 2,256.66	648 5,375.46	0.02 0.16 140

〔 18 〕

(續)

種 別	分娩費	助産手當	出産手當金	計	被保険者 一人當リ
六月 {件 數 金額又報酬額	175 1,750.00	164 780.40	197 2,487.18	536 5,017.58	0.01 0.18 128
七月 {件 數 金額又報酬額	172 1,720.00	157 760.20	154 1,768.08	483 4,248.28	0.01 0.13 108
八月 {件 數 金額又報酬額	210 2,110.00	206 998.20	216 2,198.10	632 5,306.30	0.02 0.15 134
九月 {件 數 金額又報酬額	121 1,210.00	136 666.20	157 1,581.42	414 3,457.62	0.01 0.10 87
十月 {件 數 金額又報酬額	147 1,480.00	156 762.40	174 1,784.70	477 4,027.10	0.01 0.12 100
十一月 {件 數 金額又報酬額	143 1,430.00	131 629.40	164 1,694.88	438 3,754.28	0.01 0.11 93
十二月 {件 數 金額又報酬額	171 1,710.00	184 873.40	191 1,918.20	546 4,501.60	0.01 0.13 111
昭和十一年一月 {件 數 金額又報酬額	78 780.00	58 282.40	96 1,015.62	232 2,078.02	0.01 0.07 51
二月 {件 數 金額又報酬額	110 1,100.00	68 338.00	88 984.12	266 2,422.12	0.01 0.06 59
四月 {件 數 金額又報酬額	17 170.00	59 284.00	22 193.02	98 647.02	0.002 0.01 16

(八) 療養の給付及傷病手當金の期間別件数

昭和十一年度に於ける療養の給付及傷病手當金を期間別にすれば次の如くである。即ち療養の給付は3日以下最も多く、8日以上15日以下次に次ぐ。又傷病手

〔 19 〕

當金は8日以上15日以下最も多く16日以上30日以下之に次ぐ。

期間別	療養ノ給付				傷病手當金				總數
	業務上	業務外	計	百分率	業務上	業務外	計	百分率	
總數	3,358	38,858	42,216	44.2	505	2,169	2,674	54.7	44,890
男女計	368	52,712	53,080	55.7	17	2,196	2,213	45.2	55,293
	3,726	91,570	95,296	100.0	522	4,365	4,887	100.0	100,183
三日以下	990	8,808	9,798	10.2	105	128	233	4.7	10,031
男女計	74	13,989	14,063	14.7	3	73	76	1.5	14,139
	1,064	22,797	23,861	25.0	108	201	309	6.3	24,170
四日以上	906	8,200	9,106	9.5	157	339	496	10.1	9,602
男女計	87	11,478	11,565	12.1	5	272	227	5.6	11,842
七日以下	993	19,678	20,671	21.6	162	611	773	15.8	21,444
八日以上	954	9,250	10,204	10.7	144	531	675	13.8	10,879
男女計	101	10,613	10,714	11.2	4	427	431	8.8	11,145
十五日以下	1,055	19,863	20,918	21.9	148	958	1,106	22.6	22,024
十六日以上	396	7,866	8,262	8.6	59	501	560	11.4	8,822
男女計	63	10,228	10,291	10.7	3	531	534	10.9	10,825
三十日以下	459	18,094	18,553	19.4	62	1,032	1,094	22.3	19,647
卅一日以上	82	3,132	3,214	3.3	31	411	442	9.0	3,656
男女計	40	3,696	3,736	3.9	1	532	533	10.9	4,269
六十日以下	122	6,828	6,950	7.2	32	943	975	19.9	7,925
空一日以上	16	699	715	0.7	5	141	146	2.9	861
男女計	2	1,426	1,428	1.4	1	201	202	4.1	1,630
九十日以下	18	2,125	2,143	2.2	6	342	348	7.1	2,491
空一日以上	9	453	462	0.4	2	62	64	1.3	526
男女計	1	603	604	0.6	—	78	78	1.5	682
百廿日以下	10	1,056	1,066	1.1	2	140	142	2.9	1,208
百廿日以上	2	218	220	0.2	1	29	30	0.6	250
男女計	—	291	291	0.3	—	39	39	0.7	330
百廿日以下	2	509	511	0.5	1	68	69	1.4	580
百廿日以上	3	232	235	0.2	1	27	28	0.5	263
男女計	—	388	388	0.4	—	43	43	0.8	431
百廿日以下	3	620	623	0.6	1	70	71	1.4	694

(九) 療養の給付並傷病手當金の傷病類別

昭和十一年度に於ける療養給付並傷病手當金を傷病に類別すれば次の如くである。即ち業務上の事由に因るものは眼及其の附屬器の疾患最も多く業務上の事由に因るものの2割4分、切傷、裂傷之に次ぐ、又業務外の事由に因るものは感

目最も多く、業務外の事由に因るものの1割2分、眼及其の附屬器の疾患、胃カタル之に次ぐ。

傷病名	業務上		業務外		計		傷病手當金支給日數	傷病手當金支給日數		
	療養給付 件數	日數	療養給付 件數	日數	療養給付 件數	日數				
總數	3,726	40,910	10,358	91,570	13,228	132,839	170,358	95,296	1,363,749	180,716
(1) 流行病、地方病及傳染病	—	—	—	7,354	257,350	62,716	7,354	257,350	62,716	62,716
腸チフス	—	—	—	78	1,704	856	78	1,704	856	856
マラリア	—	—	—	29	296	23	29	296	23	23
麻疹	—	—	—	31	407	87	31	407	87	87
流行性感冒	—	—	—	2	41	—	2	41	—	—
赤痢	—	—	—	2,926	38,365	2,387	2,926	38,365	2,387	2,387
丹毒	—	—	—	4	256	—	4	256	—	—
流行性腮腺炎	—	—	—	11	517	216	11	517	216	216
炭疽	—	—	—	1	5	—	1	5	—	—
肺結核	—	—	—	2	95	20	2	95	20	20
肺及胸膜ノ結核	—	—	—	1,859	116,974	34,918	1,859	116,974	34,918	34,918
梅毒	—	—	—	610	45,478	14,824	610	45,478	14,824	14,824
軟性下疳	—	—	—	387	11,560	668	387	11,560	668	668
其他	—	—	—	183	2,508	311	183	2,508	311	311
(2) 全身病	—	—	—	467	13,552	823	467	13,552	823	823
悪性腫瘍	—	—	—	764	25,592	7,583	764	25,592	7,583	7,583
良性腫瘍(女子生殖器ノ腫瘍除外)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
急性關節レウマチス	—	—	—	139	3,929	1,853	139	3,929	1,853	1,853
慢性レウマチス及痛風	—	—	—	159	4,588	1,258	159	4,588	1,258	1,258
脚氣	—	—	—	1,281	15,242	9,814	1,281	15,242	9,814	9,814
糖尿病	—	—	—	18	277	73	18	277	73	73
貧血病及萎黄病	—	—	—	207	1,009	95	207	1,009	95	95
アルコール中毒	—	—	—	1	92	73	1	92	73	73
感冒	—	—	—	11,479	106,127	2,815	11,479	106,127	2,815	2,815
其他	—	—	—	117	923	964	117	923	964	964
(3) 神経系及感覺器ノ疾患	975	5,278	248	12,683	225,669	13,339	13,658	230,947	13,587	13,587
腦膜炎	—	—	—	20	464	213	20	464	213	213
腦出卒	—	—	—	10	159	91	10	159	91	91
腦神経軟	—	—	—	12	306	220	12	306	220	220
腦炎	—	—	—	64	673	123	64	673	123	123
神經痛(齒ノ神經痛除外)	—	—	—	1	61	—	1	61	—	—
神經痛(齒ノ神經痛除外)	—	—	—	1,232	19,742	2,241	1,232	19,742	2,241	2,241

(續)

傷病名	業務上			業務外			計		
	療養給付		傷病手當金支給日數	療養給付		傷病手當金支給日數	療養給付		傷病手當金支給日數
	件數	日數		件數	日數		件數	日數	
ヒステリー	—	—	—	79	914	317	79	914	317
神經衰弱	—	—	—	1,352	10,485	1,218	1,352	10,485	1,218
眼及其ノ附屬器ノ疾患(トラホーム除外)	975	5,278	248	5,865	64,219	4,224	6,840	69,497	4,472
トラホーム	—	—	—	1,997	80,263	1,340	1,997	80,263	1,340
耳及乳嘴ノ疾患	—	—	—	1,685	39,409	1,018	1,685	39,409	1,018
精神病	—	—	—	34	3,150	1,083	34	3,150	1,083
其他	—	—	—	332	5,824	1,251	332	5,824	1,251
(4) 血行器ノ疾患	—	—	—	890	24,822	5,405	890	24,822	5,405
痔核	—	—	—	268	5,547	2,082	268	5,547	2,082
心臓ノ器質的疾患	—	—	—	231	8,391	1,177	231	8,391	1,177
其他	—	—	—	391	10,884	2,146	391	10,884	2,146
(5) 呼吸器ノ疾患	23	727	89	11,932	191,252	39,415	12,015	191,979	39,504
鼻腔及其ノ附屬器ノ疾患	—	—	—	1,919	19,176	1,879	1,919	19,176	1,879
喉頭ノ疾患	—	—	—	1,148	10,599	423	1,148	10,599	423
急性氣管支炎	—	—	—	6,221	5,405	2,316	6,221	5,405	2,316
慢性氣管支炎	—	—	—	1,308	47,167	4,855	1,308	47,167	4,855
氣管支肺炎	—	—	—	93	1,966	170	93	1,966	170
肺膜炎	—	—	—	232	13,526	1,891	232	13,526	1,891
肋膜炎	23	727	89	912	32,541	21,521	935	33,268	21,610
其他	—	—	—	156	12,226	6,360	156	12,226	6,360
(6) 消化器ノ疾患	132	728	—	27,457	295,371	18,260	27,587	296,099	18,260
口腔及其ノ附屬器ノ疾患(齒牙及齒齦除外)	—	—	—	2,982	13,697	470	2,982	13,697	470
胃カタル	—	—	—	6,444	93,048	4,111	6,444	93,048	4,111
腸カタル及下痢	—	—	—	5,331	83,035	3,452	5,331	83,035	3,452
十二指腸蟲病	—	—	—	127	1,302	356	127	1,302	356
其他ノ腸ノ寄生蟲病	—	—	—	180	1,540	320	180	1,540	320
蟲様突起炎及盲腸炎	—	—	—	281	10,867	4,280	281	10,867	4,280
脱腸及腸管閉塞	—	—	—	55	2,170	35	55	2,170	35
其他ノ腸ノ疾患	—	—	—	365	2,253	735	365	2,253	735
肝臓硬化	—	—	—	1	1	—	1	1	—
齒齦炎	—	—	—	1,193	3,811	—	1,193	3,811	—
口内炎	—	—	—	595	2,805	83	595	2,805	83
顎骨及其ノ周圍ノ組織ノ疾患	—	—	—	460	5,081	103	460	5,081	103
齒牙硬組織ノ疾患	132	728	—	2,029	10,726	—	2,161	11,454	—
齒齦ノ疾患	—	—	—	1,927	12,566	—	1,927	12,566	—

(續)

傷病名	業務上			業務外			計		
	療養給付		傷病手當金支給日數	療養給付		傷病手當金支給日數	療養給付		傷病手當金支給日數
	件數	日數		件數	日數		件數	日數	
齒根膜ノ疾患	—	—	—	2,625	17,712	34	2,625	17,712	34
齒ノ神經痛	—	—	—	153	523	—	153	523	—
其他	—	—	—	2,709	34,234	4,281	2,709	34,234	4,281
(7) 泌尿生殖器ノ疾患	—	—	—	2,365	38,484	6,354	2,365	38,484	6,354
急性腎臟炎	—	—	—	604	12,780	1,635	604	12,780	1,635
慢性腎臟炎	—	—	—	87	3,786	1,227	87	3,786	1,227
女子生殖器ノ良性腫瘍及其ノ他ノ疾患	—	—	—	592	7,318	1,381	592	7,318	1,381
其他	—	—	—	1,082	14,600	2,111	1,082	14,600	2,111
(8) 結核及産二因ル疾患	—	—	—	639	7,260	986	639	7,260	986
産褥熱	—	—	—	110	438	35	110	438	35
其他	—	—	—	529	6,822	951	529	6,822	951
(9) 皮膚及皮下組織ノ疾患	133	1,497	34	7,927	72,343	2,576	8,060	73,840	2,601
癩瘡及痘瘡	—	—	—	308	4,714	281	308	4,714	281
疥癬及急性膿瘍	—	—	—	1,807	10,494	263	1,807	10,494	263
白癬及疥癬	72	878	34	2,325	22,836	998	2,397	23,714	1,032
濕疹	—	—	—	368	1,935	—	368	1,935	—
其他	61	619	—	1,445	14,845	253	1,445	14,845	—
(10) 骨及運動器ノ疾患	6	177	13	1,649	25,474	1,541	1,655	25,651	1,554
關節ノ疾患	—	—	—	787	12,528	1,019	787	12,528	1,019
其他	6	177	13	862	12,946	522	868	13,123	535
(11) 老衰	—	—	—	—	—	—	—	—	—
(12) 外因死傷	2,411	31,893	9,974	4,746	40,211	2,202	7,157	72,104	12,176
自中窒溺	—	—	—	4	4	—	4	4	—
殺毒息死	—	—	—	207	1,296	—	207	1,296	—
其他	—	—	—	1	23	—	1	23	—
其他	—	—	—	3	3	—	3	3	—
其打撲火凍	1	—	—	—	—	—	1	—	—
其他ニ因ル死傷	—	—	—	4	4	—	4	4	—
打撲	471	7,784	2,607	764	4,580	341	1,235	12,364	2,948
火傷	309	3,266	197	327	3,133	216	506	6,399	413
凍傷	393	4,752	923	474	4,482	220	867	9,234	1,143
其他	—	—	—	762	5,219	—	762	5,219	—

(續)

傷病名	業務上		業務外		計		傷病手 當金支 給日數
	療養給付		療養給付		療養給付		
	件數	日數	件數	日數	件數	日數	
切傷、裂傷及刺傷	607	6,528	2,082	—	—	—	2,082
切斷	28	338	68	—	—	—	68
脱臼	19	273	347	—	—	150	497
挫傷	408	6,790	3,146	—	—	—	3,146
骨折	49	925	386	14	548	227	613
其ノ他ノ負傷	125	1,234	218	289	2,927	266	484
(13) 不明ノ疾患	46	610	—	76	981	—	—
不明ノ疾患	46	610	—	76	981	—	—

(十) 療養の給付の傷病轉歸別件數

既往五年間の療養の給付の傷病轉歸別件數は次の如くである。尙昭和十一年度中の件數を傷病に類別して見れば消化器の疾患は最も多く總數の2割8分、全身病之に次ぐ。

種別	業務上、 外ノ別	治癒シタ ルモノ	死亡シタ ルモノ	制限期間ヲ超エ タルニ因リ給付 ヲ止メタルモノ	未ダ治癒セ ザルモノ	計
昭和七年度	業務上	1,670	3	3	48	1,724
	業務外計	40,433	119	135	1,446	42,133
	計	42,103	122	138	1,494	43,857
昭和八年度	業務上	2,057	2	—	55	2,114
	業務外計	45,816	108	147	1,633	47,704
	計	47,873	110	147	1,688	49,818
昭和九年度	業務上	2,650	—	4	52	2,706
	業務外計	56,171	241	268	2,179	58,859
	計	58,822	241	272	2,231	61,565
昭和十年度	業務上	3,813	5	4	93	3,915
	業務外計	84,258	346	284	2,698	87,586
	計	88,071	351	288	2,791	91,501
昭和十一年度	業務上	3,654	6	1	65	3,726
	業務外計	88,104	390	534	2,542	91,570
	計	91,758	396	535	2,607	95,296
流行病、地方 病及傳染病	業務上	—	—	—	—	—
	業務外計	6,508	231	212	403	7,354
	計	6,508	231	212	403	7,354

(24)

(續)

種別	業務上 外ノ別	治癒シタ ルモノ	死亡シタ ルモノ	制限期間ヲ超エ タルニ因リ給付 ヲ止メタルモノ	未ダ治癒セ ザルモノ	計
全身病	業務上	—	—	—	—	—
	業務外計	13,518	7	18	249	13,792
	計	13,518	7	18	249	13,792
神経系及感覺 器ノ疾患	業務上	966	—	—	9	975
	業務外計	12,052	20	93	518	12,683
	計	13,018	20	93	527	13,658
血行器ノ疾患	業務上	—	—	—	—	—
	業務外計	780	24	24	62	890
	計	780	24	24	62	890
呼吸器ノ疾患	業務上	23	—	—	—	23
	業務外計	11,318	58	107	509	11,992
	計	11,341	58	107	509	12,015
消化器ノ疾患	業務上	132	—	—	—	132
	業務外計	27,036	30	19	372	27,457
	計	27,168	30	19	372	27,589
泌尿生殖器ノ 疾患	業務上	—	—	—	—	—
	業務外計	2,235	10	9	111	2,365
	計	2,235	10	9	111	2,365
妊娠及産ニ因 ル疾患	業務上	—	—	—	—	—
	業務外計	631	1	—	7	639
	計	631	1	—	7	639
皮膚及皮下組 織ノ疾患	業務上	132	—	—	1	133
	業務外計	7,750	—	9	168	7,927
	計	7,882	—	9	169	8,060
骨及運動器ノ 疾患	業務上	5	—	—	1	6
	業務外計	1,534	—	34	81	1,649
	計	1,539	—	34	82	1,655
外因死傷	業務上	2,350	6	1	54	2,411
	業務外計	4,668	8	8	62	4,746
	計	7,018	14	9	116	7,157
不明ノ疾患	業務上	46	—	—	—	46
	業務外計	74	1	1	—	76
	計	120	1	1	—	122

(十一) 死亡の原因調

昭和十一年度に於ける死亡者396名の内、業務上の事由に因るもの6名、業務

(25)

外の事由に因るもの 390 名である。之を傷病に類別すれば次の如くで、肺結核は最も多く總數の 3 割 8 分、腸及腸膜の結核之に次ぐ。

傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數	傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數
	件數	日數			件數	日數	
總數	396	20,686	22,058	(3) 神經系及感覺器ノ疾患	20	246	1,003
(1) 流行病、地方病及傳染病	231	14,829	13,375	10 腦膜炎	10	164	30
1 腸チフス	9	162	128	11 腦出血	4	10	10
2 流行性感胃	1	5	—	12 腦卒中	3	5	—
3 丹毒	—	—	38	13 腦軟化	1	61	—
4 肺結核	152	9,047	8,131	14 精神病	—	—	721
5 腸及腸膜ノ結核	59	4,861	3,387	15 其ノ他	1	5	39
6 其ノ他	10	754	1,691	(4) 血行器ノ疾患	24	248	678
(2) 全身病	7	220	484	16 心臟ノ器質的疾患	18	240	100
7 急性腫瘍	2	70	—	17 其ノ他	6	8	409
8 脚氣	4	144	388	(5) 呼吸器ノ疾患	58	3,318	2,214
9 其ノ他	1	6	39	18 鼻腔及其附屬器ノ疾患	1	2	—

(續)

傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數	傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數
	件數	日數			件數	日數	
19 急性氣管支炎	1	17	—	30 其ノ他	5	386	39
20 慢性氣管支炎	7	621	790	(7) 泌尿生殖器ノ疾患	10	569	308
21 氣管支肺炎	2	112	—	31 急性腎臟炎	1	33	71
22 肺炎	12	128	452	32 慢性腎臟炎	7	471	62
23 肋膜炎	33	2,427	2,727	33 女子生殖器ノ良性腫瘍其他	1	42	—
24 其ノ他	2	11	1,801	34 其ノ他	1	23	37
(6) 消化器ノ疾患	30	1,093	386	(8) 妊娠及産後ニ因ル疾患	1	45	28
25 腸カタル及下痢	12	340	68	35 妊娠及産後ニ因ル疾患	1	45	28
26 蟲様突起炎及盲腸炎	6	247	258	(9) 外因死傷	14	102	26
27 脱腸及腸管閉塞	2	33	209	36 自殺	3	3	—
28 其ノ他ノ腸疾患	2	43	21	37 溺死	3	3	—
29 肝臓硬化	1	1	—	38 撲死	1	—	—

(續)

傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數	傷病名	療養ノ給付		傷病手當金支給日數
	件數	日數			件數	日數	
39 其ノ他ニ因ル死	1	3	—	42 其ノ他ノ負傷	3	—	—
	1	3	—		3	—	—
40 火傷	1	32	26	(9) 不明ノ疾患	1	16	—
	1	32	26		1	16	—
41 骨折	1	60	—	34 不明ノ疾患	1	16	—
	1	60	—		1	16	—

第六 保険醫診療報酬分配状況

既往五年間に於ける日本醫師會より本縣の保険醫(齒科醫師を除く)に爲せる診療報酬の分配状況を窺ふに次の如くである。尙昭和十一年度に於ける月別の診療報酬の分配状況は12月分は最も多く11月分之二に次ぐ。

種別	診療擔當醫	決定点数	診療報酬額	一点單價	診療保險醫一人當	被保險者一人當リ
昭和七年度	3,416	691,414	120,915.39	17.50	35,396	6,131
昭和八年度	3,673	778,398	133,899.85	17.20	36,455	5,868
昭和九年度	3,851	1,016,673	165,164.30	16.24	42,888	5,592
昭和十年度	4,336	1,382,966	237,396.44	17.16	54,750	6,295
昭和十一年度	4,431	1,472,565	235,448.94	15.98	53,136	5,911
四五月	365	105,688	19,495.67	16.151	53,412	.515
五六月	362	118,283	19,562.38	14.666	54,039	.510
六七月	367	122,625	19,822.58	14.270	54,012	.506
七八月	374	144,689	20,083.73	11.784	53,699	.509
八九月	369	137,357	20,076.61	12.195	54,408	.504
九十月	379	144,727	20,368.98	12.261	53,744	.509
十月	385	133,181	20,596.05	10.395	53,496	.513
十一月	369	119,299	20,948.28	16.192	56,770	.520
十二月	372	114,441	21,429.37	16.799	57,605	.528
昭和十二年一月	366	105,584	21,036.83	18.383	57,477	.517
二月	362	103,878	21,020.72	18.590	58,068	.516
三月	361	125,813	21,007.74	15.215	58,193	.508
平均	369	122,713	19,620.74	14.741	55,402	.512

第七 保険齒科醫診療報酬分配状況

日本齒科醫師會に於て本縣の保険齒科醫に對して爲せる昭和十年度及び昭和十一年度の診療報酬分配状況を窺ふに次の如くである。尙昭和十一年度に於ける月別の診療報酬の分配状況は3月分最も多く、12月分之二に次ぐ。

種別	診療擔當齒科醫	決定点数	診療報酬額	一点單價	診療擔當齒科醫一人當リ	被保險者一人當リ
昭和十年度	731	254,838	25,304.86	9.929	34,616	.671
昭和十一年度	738	258,708	25,644.11	9.912	34,748	.643
四五月	55	18,030	1,994.65	11.063	36,263	.052
五六月	57	24,622	2,054.52	8.344	36,044	.053
六七月	60	23,147	2,072.64	8.954	34,544	.052
七八月	59	24,472	2,117.30	8.151	35,885	.053
八九月	59	22,851	2,142.58	9.377	36,314	.053
九十月	65	22,987	2,150.20	9.354	33,080	.053
十月	67	24,817	2,162.63	8.714	32,278	.053
十一月	61	21,955	2,169.91	9.885	35,572	.053
十二月	58	20,874	2,175.30	10.421	37,505	.053
昭和十二年一月	62	14,071	2,117.78	15.052	34,157	.052
二月	63	15,144	2,079.29	13.073	33,004	.051
三月	72	25,733	2,407.58	9.356	33,438	.058
平均	61	21,559	2,137.00	10.145	34,840	.053

第八 給付機關

既往五年間に於ける診療並調劑、助産の手當を擔當する給付機關は次の如くにして、昭和十一年度に於ける給付機關の分布状態を地域的に見れば、金澤市最も多く能美郡之に次ぐ。而して工場所在地に於ける保険醫の存在せない村は2、3に止まり醫療給付に支障を認めない。

種別	保險醫		保險藥劑師	保險産婆	工場、事業場事業數	被保險者數
	醫師	齒科醫師				
昭和七年度	479	70	94	310	950	19,720
昭和八年度	467	80	81	315	987	22,815
昭和九年度	510	78	82	363	1,175	29,532
昭和十年度	505	88	82	383	1,832	36,871
昭和十一年度	436	100	82	401	1,991	41,327
金江	145	43	46	101	491	11,118
澤市	31	9	4	33	231	5,874
沼美	62	11	10	61	594	8,814
川北	43	6	6	50	200	3,113
石河	25	5	4	32	143	3,395
羽鹿	34	6	2	35	64	2,090
鳳凰	45	12	4	52	185	5,857
珠洲	37	4	4	17	67	439
	15	4	1	20	16	627

第九 保健施設

(一) 一般施設

既往五年間に於て被保険者の体位向上の爲めの施設として実施した事項を擧ぐれば次の如くである。

年度別	保健宣傳ニ關スル事項	傷病豫防ニ關スル事項	健康診断ニ關スル事項	体育奨励等ノ事項
昭和七年度	保健宣傳ポスター、パンフレット配付 保健衛生講演會並映畫會	寄生蟲驅除	巡回健康診断	体育大會 保健いろはカルタ標語募集
昭和八年度	保健宣傳ポスター、パンフレット配付 保健衛生講演會並映畫會 榮養講習會	寄生蟲驅除		体育大會 排球大會 五年健康者表彰
昭和九年度	保健宣傳ポスター、パンフレット配付 保健衛生講演會並映畫會	救護術講習會		体育大會 排球大會 武道大會 衛生展覽會 外科後處置 一年並五年健康者表彰
昭和十年度	保健宣傳ポスター、パンフレット配付 保健衛生講演會並映畫會	救護術講習會 巡回健康相談		野球大會 排球大會 武道大會 外科後處置 一年並五年健康者表彰
昭和十一年度	保健宣傳ポスター、パンフレット配付 保健衛生講演會	巡回健康相談		野球大會 排球大會 五年並十年健康者表彰 外科後處置

(二) 健康保険相談所

昭和十年十月一日より設置せられた石川縣健康保険相談所の成績は次の如くである。

種別	健康相談	太陽燈射	レントゲン検査		血液検査	其ノ他ノ検査					巡回看護指導	一般的相談又指導				
			健康相談ノ爲メ検査シタルモノ	保健給付ノ爲メ検査シタルモノ		尿	尿	喀痰	血圧	其他			計			
昭和十年度	男子	1,078	2,358	46	—	95	6	55	4	47	33	145	121			
	女子	1,679	881	44	—	14	—	19	82	1	3	130	36			
男女計	2,757	3,239	90	—	109	—	25	137	5	50	59	275	157			
昭和十一年度	男子	2,838	7,827	1,146	225	46	10	275	151	18	118	7	94	358	610	258
	女子	3,517	5,652	1,363	276	55	16	53	683	9	142	4	15	1,351	1,560	120
男女計	6,355	13,479	2,507	501	101	26	328	834	27	260	11	109	1,709	2,170	378	

健康相談に依り発見せし疾病

昭和十一年度中に於て健康相談の結果発見した疾病は次の如くである。即ち罹病者は全相談者に対する7割8分、結核性疾患者は全相談者に対する3割6分である、内結核性疾患者は16歳より20歳迄の者最も多く21歳より25歳迄の者之に次ぐ。

病類別	男	女	計	種別	結核性疾患										
					十以下歳下	自至十二歳	自至十五歳	自至二十歳	自至二十五歳	自至三十歳	自至三十五歳	自至四十歳	自至四十五歳	自至五十歳	自至五十五歳
總數	2,838	3,517	6,355	總數	150	892	615	342	163	82	36	21	11	42,316	
				男女計	30	302	242	201	101	52	22	14	10	3,977	
					120	590	373	141	62	30	14	7	1	11,339	
流行病地方病及傳染病	905	1,159	2,064	肺結核	—	11	14	17	5	3	2	2	—	55	
				男女	2	7	16	5	2	—	—	1	—	33	
全身病	223	330	553	肺門淋	16	166	119	103	45	25	11	2	—	488	
				男女	49	251	150	66	26	16	2	—	—	561	
神経系及感覺器ノ疾患	218	165	383	肋膜炎	—	13	16	13	6	3	—	1	—	52	
				男女	2	40	26	6	1	—	3	—	—	78	
血行器ノ疾患	49	46	95	胸膜炎	—	8	9	5	—	—	—	—	—	22	
				男女	15	76	27	8	4	1	—	—	—	131	
呼吸器ノ疾患	253	321	574	肺浸潤	3	53	51	22	28	4	3	5	6	176	
				男女	17	61	64	31	11	6	2	2	—	194	
消化器ノ疾患	342	352	694	腎椎カ	1	16	15	29	12	15	5	4	3	100	
				男女	3	57	42	13	8	3	3	2	—	132	
泌尿生殖器ノ疾患	27	59	86	腎臓腫脹	10	35	17	11	5	1	1	—	1	81	
				男女	31	97	48	11	10	4	4	2	—	207	
皮膚及皮下組織ノ疾患	84	43	128	腎臓結核	—	—	1	—	—	1	—	—	—	2	
				男女	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	
骨及運動器ノ疾患	155	188	343	骨膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
				男女	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	
外傷	69	13	82	骨髓炎	—	—	—	1	—	—	—	—	—	1	
				男女	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
疾病ヲ認メザル者	512	841	1,353												

第十 保險經濟

政府管掌健康保險の保險經濟は全國を一團とするもので、府縣毎に其の收支を經理するものではないが、参考の爲石川縣に於ける昭和十一年度の状態を見れば次の如くである。即ち收支の状況は不良である。

保險料収入額		保險給付支出額		収入額ノ支出額ニ對スル増減	
總額	被保險者一人當	總額	被保險者一人當	増減(△)額	被保險者一人當
398,559	10.0072	523,029	13.1325	△ 124,470	△ 3.1252

第十一 健康保險より觀たる石川縣の地位 (昭和十年度末)

種別	全國ノ數	平均數	全國ノ位	本縣ノ位	本縣ノ位	本縣ノ位	全國ノ末位
工場、事業場及事業數	113,719	23,696	警視廳 21,844	神奈川縣 1,935	17 (1,832)	三重縣 1,490	沖繩縣 171
被保險者數	2,096,657	44,609	警視廳 317,129	三重縣 37,132	17 (36,871)	岐阜縣 34,304	沖繩縣 2,790
平均標準報酬日額	—	974	神奈川縣 1,420	鹿兒島縣 700	43 (694)	福井縣 677	山形縣 592
保險給付	件數 { 5,869,069	124,873	大阪府 786,167	岐阜縣 104,880	20 (102,738)	三重縣 91,467	沖繩縣 5,492
	日數 { 78,363,417	1,667,306	警視廳 10,843,245	福井縣 1,428,203	18 (1,423,647)	長崎縣 1,359,244	沖繩縣 67,479
療養ノ付	費用 { 24,814,765	527,973	警視廳 3,698,515	群馬縣 480,005	16 (468,147)	岡山縣 416,741	沖繩縣 28,766
	件數 { 5,278,515	112,308	大阪府 707,927	岐阜縣 95,377	20 (91,935)	愛媛縣 87,155	沖繩縣 4,501
給付	日數 { 66,909,621	1,423,608	警視廳 9,357,196	山口縣 1,277,608	17 (1,192,935)	福井縣 1,152,046	沖繩縣 53,960
	費用 { 16,670,289	354,687	警視廳 2,433,473	廣島縣 361,624	15 (332,094)	岡山縣 321,809	沖繩縣 20,426
保險醫	31,111	661	警視廳 4,469	福島縣 524	25 (505)	山形縣 492	沖繩縣 138

(續)

種別	全國ノ數	平均數	全國ノ位	本縣ノ位	本縣ノ位	本縣ノ位	全國ノ末位
保險醫一人ニ對スル被保險者數	—	67	大阪府 160	静岡縣 74	11 (73)	警視廳 71	千葉縣 19
保險齒科醫	11,788	250	警視廳 1,967	佐賀縣 96	41 (88)	滋賀縣 86	沖繩縣 23
保險齒科醫一人ニ對スル被保險者數	—	178	福井縣 490	福井縣 490	2 (4:9)	大阪府 321	千葉縣 59
保險藥劑師	7,098	151	警視廳 1,560	埼玉縣 89	24 (82)	福井、岡山縣 80	沖繩縣 4
保險藥劑師一人ニ對スル被保險者數	—	295	山梨縣 2,036	静岡縣 458	10 (450)	山口縣 441	熊本縣 109
保險產婆	31,455	669	警視廳 2,777	宮崎縣 401	35 (383)	岩手縣 377	沖繩縣 72
保險產婆一人ニ對スル被保險者數	—	67	福井縣 141	群馬縣 97	7 (96)	岡山縣 95	沖繩縣 19

附 錄

石川縣に於ける健康保險組合

石川縣に事務所を有する健康保險組合は昭和十一年度末現在は次の如くである。この内石川縣外に主たる事務所を有するは日東紡績健康保險組合のみである。

組合名稱	事業ノ種類	事務所所在地	設立認可年月日	組合ノ設立アル事業ノ所在地及名稱	被保險者數
小松製作所健康保險組合	器械機具	能美郡小松町八日市地方	大正15年12月21日	株式會社小松製作所 能美郡小松町八日市地方	1,147
尾小屋嶺山健康保險組合	金屬鑛業	能美郡西尾村字尾小屋	昭和元年12月25日	日本鑛業株式會社 東京市麹町區丸ノ内二丁目	910
錦華紡績金澤本店健康保險組合	染織	金澤市大豆田新町	昭和3年1月1日	錦華紡績株式會社 金澤市大豆田新町	2,097
日本絹織株式會社健康保險組合	染織	江沼郡南郷村字南郷	大正15年12月23日	日本絹織株式會社 大阪市西區江戸堀上通一丁目	2,147
日東紡績健康保險組合	染織	福島縣郡山市麓山町	昭和4年5月1日	日東紡績株式會社 福島縣信夫郡杉妻村	527

歴代知事

知事 (健康保険移管後)	
代数	氏名 在職期間
二十四代	中野 邦一 自昭和四年七月六日 至同六年一月二十日
二十五代	田寺 俊信 自同六年一月二十日 至同年十二月十八日
二十六代	平賀 周 自同年十二月十八日 至同七年六月二十八日
二十七代	山口 安憲 自同七年六月二十八日 至同九年四月六日
二十八代	館 哲二 自同年四月六日 至同十年一月十五日
二十九代	生駒 高常 自同年一月十五日 至同十二年二月十日
三十代	兒玉 政介 自同十二年二月十日 現在=至ル

歴代警察部長

警察部長	
代数	氏名 在職期間
三十四代	麻生 亮藏 自昭和四年七月八日 至同五年八月二十八日
三十五代	田中 藏六 自同年八月二十八日 至同六年十二月廿四日
三十六代	辻野 三郎 自同年十二月二十四日 至同七年三月八日
三十七代	歌田 千勝 自同年三月八日 至同年六月三十日
三十八代	八田 三郎 自同年六月三十日 至同九年五月四日
三十九代	富田 健治 自同年五月四日 至同十年一月十九日
四十代	永井 浩 自同年一月十九日 至同十一年四月廿五日
四十一代	山田 武雄 自同年四月二十五日 至同十二年七月八日
四十二代	齋藤 亮 自同年七月八日 現在=至ル

歴代健康保険(署)課長

署、課長	
代数	氏名 在職期間
初代	中島 仙作 自大正十五年十月一日 至昭和三年五月十八日
二代	平野 芳文 自同三年五月十八日 至同七年二月十八日
三代	並木 敏 自同七年三月三日 至同十一年八月廿九日
四代	田中 弘治 自同十一年九月十七日 現在=至ル

昭和十二年十二月二十日印刷 (非賣品代購寫)
昭和十二年十二月二十二日發行

石川縣警察部健康保險課

金澤市高岡町九十番地
印刷人 高橋 覺 吉

金澤市高岡町九十番地
印刷所 明治印刷株式會社

